

取扱注意

お酒様進行マニュアル

この儀式は、新郎の退去を白日の下にさらし、罪を清めるためのものである。目的を誤って行わないよう注意する必要がある。なお、やり過ぎと思うくらいが適当である。

入場

誰か1人に簡単なスピーチを行ってもらい、スピーチがまさに終わろうとするときに、全員で「ちょ〜と待った〜!!」というかけ声をかける。と同時に入場の音楽が流れるように司会の方をお願いしておく。

入場は、怪しげなミュージックとともに登場する。行進のときは「エイッサ! ホイッサ! ~」や「ソイヤ! ソイヤ!」などのかけ声が適当である。行進の方法は、足を45度方向に左右大きく出す。この時、全員がそろっていないとみっともないので事前にどちらの足から進むか打ち合わせる必要がある。

先頭(リーダー)は、お酒様を高く掲げ行進を行う。次いで2人目は両手に口ウソクを持って入場、それ以降の者は腹に手をあて入場する。なお、このとき視線は斜め30度の空を一心に見つめて行進を行う。ここで重要なことは決して笑ってはいけない。笑ってしまうと単なる余興と勘違いされる恐れがあるため、特に注意が必要である。

行進は適当に大回りし、皆にアピールをする。特に、親戚筋のおやおよび若者にウケはいいようである。入退場は怪しい雰囲気高めるために、会場のライトを落としてもらう。

儀式

行進を行い、儀式を行う場所についたらメンバーは半円上になり、新郎に対して向き合う形をとる。スタンバイできたら次の例のように進行する。

リーダー: 「新郎〜! 井上佳三〜! 前へ出〜!」

「汝の犯してしてきた悪行の数々〜! 世間の目はごまかせても、このお酒さまの目はごまかせまい〜!」

すると罪状を読み上げる1人目が

A: 「ひと〜つ! DCSに出向したことを利用し……」

罪状を読み上げ終わったら、全員で

全員: 「まさか、忘れたわけではあるまい〜!」

1/2

2人目は

B: 「ひと〜つ! 湘光園の掃除中、我慢できなくて……」

全員: 「まさか、忘れたわけではあるまい〜!」

すべての罪状が終了したら、

リーダー: 「本来ならば、地獄の底へとたたき落としてくれるところであるが、このめでたき席にて、ゆるしを乞うなら、このお酒様も放してくれよう。如何いたす!」

新郎: 「謹んでお受けいたします」や「私が悪うございました」や「恐れ入りました」など言わせると良い。

新郎が罪を認めたら、全員で

全員: 「お酒様に御奉りそうろう」

とかけ声をかけ、リーダーがお酒様の栓を抜いたら、さらに全員で大きく足を開き、腰を落として、手拍子とともに「置いたらあかん! 置いたらあかん!……」とすべてを飲み干すまで、叫び続ける。

新郎が最後の1滴まで飲み干したら空瓶をリーダーが受け取り、

リーダー: 「これにて新郎の罪は赦された〜!」

といって、入場の時と同様に退場する。

この儀式でのポイントは決して笑わないこと、必死になってかけ声をかけること、声を腹の底から絞り出すこと、などである。

なお、罪状は事実にとだわらず大げさな話であることがベターである。できるだけ派手に言うことが大事である。中途半端な罪状だと本当のことと想い、新婦の表情、および、親族の表情が険しくなることが予想される。

この儀式は、新郎新婦の今後の夫婦円満を願っておこなうものであるが、万一の場合には、マニュアル作成者としては一切関知いたしませんので、よろしくお願いたします。皆様のご健闘を期待しております。

2/